

フフルー川バスケットより

金子 双葉

“私の取り柄はどんな時でもめげない事です。”

いつでも前向きでめげない透さん。とても温かい人。実際に居るのなら、会ってみたい。不安になる事だらけのこの世界で、明るく生きる透さんに私はどれだけ勇気づけられたのだろう。私が真剣に悩んでいた事だ。そして、小さな悩みに思えど、しるものなんだ。

自分は誰かに必要か？そんな風に自信がなくなること、どれくらいだろう。でもその度、色んな透さんの言葉が心に染みわたった。良いところがないとも思う事もある。たとえ、友達はややんを見ているくれるんだと、改めて教わった。でも、どうしても他人の良きところばかりが目について、憧れ、自分には悪いところばかりしかない。そんな自分と責めて閉じこめてしまおう。とうしてそんな事になっ。そして、そのか。とても不思議だ。

ったが、透さんが教えてくれた。人の良いところを梅干しに、人とオニギリに例えた考え方で、梅干しは背中に付いているから、自分
は真ッ白なオニギリなんだと落ろ込んでしま
う。でも他人には、背中にあるからよく見え
る。一人一人すこく輝いていて形も様々。自
分では見る事はできなけれど、あると信じ
たい。それに、友達は見えてくぬるがもし
れないから、私も友達の良いところをたくさ
ん見つけた。でもまずは自分レを認め
たい。自分レを信じられるように、梅干しを
見つけられるように頑張りたいと思う。

「自分を信じる」事はできるかもしれない
が、「自分を好きになる」というのはよく分
からない。さっきも書いたように、自分には
悪いところばかりしかないと思ってる。しま
う、自分を好きにはなれないのに。このオニ
ギリにも同じ悩みを持つている人がいた。その
人もやっぱり自分が嫌いで、誰かに認めても
うええはいめて、自分を少し許せような……

好きになれそうな気がしてくると思うと、感じ
ていた。私も全く同じだった。誰かに受け入
れてもらうなんて初めて私自身の価値も認められ
るわけだろうし、受け入れてくれる人がいなり
れば、本当に何も無くなってしまうだろう。
つづいてアニメを通して、人はやっぱり独りで
は生きていけないんだと思った。一人と独り
は違うし、やっぱり仲間がいる事は大きいハ
ズ。何ともない事で笑えて、怒れて、一生懸
命や？ ているから生まれる怒り、悲しめがぶ
つかって、けなうもあるけど大切な友達、家
族がいる。当たり前だけど、本当は当たり前
が一番幸せなんだという事、このアニメが気
付かせてくれた。透さんにも感謝している。
どんな時でもめげずに前向きな透さん。私
にはそんな事はできない。でも、いつも前向
きな透さんのように、今と前向きに考えてい
く事はできそうだから、頑張りたい。辛い事
があっても、自分を強くするたためと前向きに
前向きに考えたい。透さん、ありがとう。